

## 令和元年度実施

### ○住民の防災意識向上のための取組

- 静岡市治水交流資料館の利活用による水防災教育の実施
  - ・小中学校等団体の受入れ(16校)  
巴川シアターや展示物等を説明
  - ・資料館利活用推進事業(3校)  
資料館や治水施設を見学するバスツアー(小学校4年生対象)
  - ・防災関連等に関する市民向け講座



- 安倍川の歴史的治水施設等を説明する副読本の配布
  - ・「徳川家康公と安倍川物語」



- 洪水ハザードマップの作成・周知
  - ・丸子川・庵原川・山切川、興津川のハザードマップ(3水系4種類)作成、流域の約3.4万世帯を対象とし、令和元年12月配布
  - ・Web版洪水ハザードマップを更新
  - ・静岡市版マイ・タイムラインの作成及び研修会の実施



- 高齢者の避難行動理解促進に向けた取組
  - ・地域包括支援センター29施設を対象とした研修実施・ハザードマップの配布

ケアマネージャー等へのハザードマップ説明

## 令和2年度予定

### ○住民の防災意識向上のための取組

- 静岡市治水交流資料館の利活用による水防災教育の実施
  - ・小中学校等団体の受入れ  
巴川シアターや展示物等を説明
  - ・資料館利活用推進事業  
資料館や治水施設を見学するバスツアー(小学校4年生対象)
  - ・防災関連等に関する市民向け講座



- 治水啓発冊子「わたしたちの巴川」の改訂及び配布

- 洪水ハザードマップの周知
  - ・ハザードマップとあわせた、静岡市版マイ・タイムラインの啓発
  - ・WebGISを活用したハザードマップ情報の発信適正化



## 令和元年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 洪水対応情報伝達演習の実施
  - ・静岡河川事務所、甲府河川国道事務所とのホットライン訓練
  - ・タイムラインの検証及び改善に向けた見直し
- 地下街等における避難計画の策定及び訓練
  - ・大規模集客施設における避難誘導・浸水防止訓練の支援  
地域防災計画で位置付けた、地下施設をもつデパートにおいて従業員約100名参加による避難誘導訓練及び止水板設置訓練を実施



### ○社会経済被害の最小化のための取組

- 排水計画の作成
  - ・排水訓練(機器操作等)への参加
  - ・タイムライン素案に関する関係機関との協議
  - ・排水ポンプ車の実動派遣(台風第19号)による排水操作実施
- 陸間の実動訓練に参加し、閉鎖操作を実施
  - ・5か所(9/12)



排水ポンプ車の実動派遣

## 令和2年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 洪水対応情報伝達演習の実施
  - ・静岡河川事務所、甲府河川国道事務所とのホットライン訓練
  - ・タイムラインの検証及び改善に向けた見直し
- 要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練
  - ・避難確保計画の策定支援  
庁内関係課による検討会の運営  
施設管理者向け説明会の実施
  - ・要配慮者利用施設の訓練支援  
防災メールによる情報伝達訓練(対象約3.5万人)  
関係機関と連携した実動訓練



### ○社会経済被害の最小化のための取組

- 排水計画の作成
  - ・排水訓練(機器操作等)への参加
  - ・関係機関と協議したタイムライン素案の改善
- 陸間の実動訓練に参加し、閉鎖操作を実施
  - ・4か所(井ノ宮北小、伝馬町新田、美川町、水道町)で実施(9月中旬予定)

## 令和元年度実施

### ○住民の防災意識向上のための取組

- 第4回防災チャレンジ運動会の開催
  - ・市内小学生31名が参加。
  - ・担架を使用した搬送リレー、土のう積み上げ競争、模擬バケツリレー、心臓マッサージ訓練、トイドローン操縦体験を実施した。
- 学校水防災教育の実施
  - ・川根中学校、初倉中学校、六合中学校にて、風水害・土砂災害に関する防災講座が実施された。



### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設避難確保計画に基づく訓練支援等
  - ・施設が作成した計画の実効化、電話伝達訓練等、訓練の実施を支援した。
- 水防訓練の継続実施
  - ・各種土のう工法の訓練を継続実施することで、消防団(210名)、自主防災組織(68名)の技術と意識の向上を図った。
  - ・排水ポンプ車操作訓練を実施した。
- 土のうステーションの常設化
  - ・大雨や台風等に起因する浸水被害に対する、住民による自衛活動の支援として、常備の土のうステーションを整備した。令和元年度時点で、市内2箇所(川根地区、初倉地区)に常設の土のうステーションの設置が完了した。



## 令和2年度予定

### ○住民の防災意識向上のための取組

- 第5回防災チャレンジ運動会の開催
  - ・昨年度に引き続き開催する。
  - ・市内の小学生を対象に防災に関する競技を通して知識と意識の向上を図る。
- 学校水防災教育の継続実施
  - ・市内小・中学校にて、水防災教室を実施し、児童・生徒の防災に関する知識と意識の向上を図る。



### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設避難確保計画に基づく訓練支援等
  - ・これまで作成した計画の実効化と訓練実施を支援する。
- 水防訓練の継続実施
  - ・各種土のう工法の訓練を継続実施し、消防団等の技術と意識の向上を図る。
- 土のうステーションの常設化
  - ・大雨や台風等に起因する浸水被害に対する、住民による自衛活動の支援として、土のうステーションを整備する。今年度は、新たに1か所(金谷地区)の整備を実施し、計3箇所、市内に常設の土のうステーションを設置する予定。



## 令和元年度実施

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ◆土のうステーションの増設



土のうステーションの設置状況

- ・市民が迅速に洪水被害の対策がとれるよう、市内要所に土のうステーションを増設(市内30箇所を設置)

#### ◆生徒を対象とした防災教育の実施

R1.9.20実施(市内中学校において)



- ・志太榛原地域大規模氾濫減災協議会が作成した教材パッケージを用いて、**中学校での防災教育を実施**

## 令和2年度予定

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ◆水害ハザードマップの作成



ハザードマップイメージ

- ・想定最大規模の浸水想定区域に基づき、**水害ハザードマップを作成し、市民へ配布する。**

### ○迅速な水防活動・排水活動のための取組

#### ◆排水ポンプ投入を想定した訓練の実施



訓練イメージ

- ・出水時に速やかに排水活動が実施できるよう、排水ポンプの設置訓練を実施する。

## 令和元年度実施

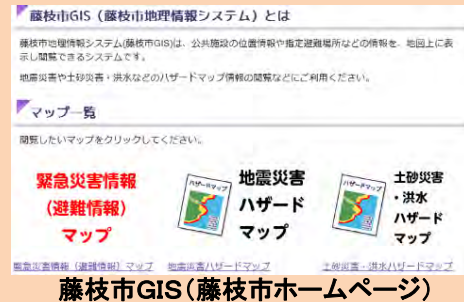
### ○住民の防災意識向上のための取組

- 市民自らが情報収集と迅速な避難行動ができるように啓発冊子を全戸へ配布
  - ・**わが家のハザードカルテ**  
(各家庭で自宅の危険度を把握してもらうため、自宅周辺の災害リスクを確認して記入するシート)
  - ・**藤枝市防災・減災ガイド**  
(災害リスクや防災情報の取得方法、災害に対する備え等を記載した冊子)



### ●洪水ハザードマップの改定

- ・瀬戸川、朝比奈川、葉梨川、栃山川、大井川のハザードマップを改定
- ・市民公開用の**藤枝市GIS**を構築し、洪水ハザードマップを公開  
(PDF版もホームページで閲覧可能)



### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 静岡県とともに**マイ・タイムライン**のワークショップを開催

#### 【ワークショップ概要】

対象:青島第7自治会(瀬戸川流域)  
参加者:第1回(講演と学習)52名  
第2回(学習と実践)43名  
内容:有識者と被災者による講演資料を用いた学習と実践



## 令和2年度予定

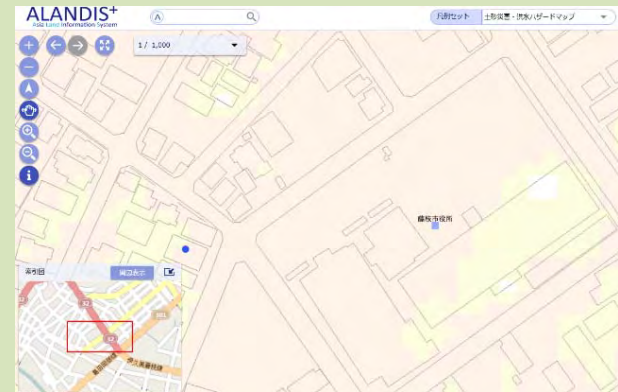
### ○被害軽減のための基盤等の整備

- 藤枝市水位・雨量観測システムを拡張
  - ・水位計を4河川4箇所へ新設  
(水位計8箇所⇒12箇所へ拡張)
  - 【対象河川】  
内瀬戸谷川、大溝川、八幡川、桐川
- 河川の流下能力の保全
  - ・緊急浚渫推進事業債を活用して**浚渫作業を実施**
  - 【対象河川】  
大溝川、法の川



### ○住民の防災意識向上のための取組

- 内水ハザードマップの作成
  - ・最大規模の浸水被害だけでなく、発生頻度が高い内水氾濫の浸水情報を公表
  - ・市民公開用の**藤枝市GIS**で内水ハザードマップを公開  
(PDF版も公開)



- 洪水ハザードマップの周知
  - ・改定内容の概要を記載した**概要版**を全戸へ配布

- ・地区交流センター、学校、地域包括支援センター等にマップを掲示

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- マイ・タイムライン**のワークショップを開催
  - ・静岡県が作成した手引書をもとに実施  
⇒必要に応じて手引書を**実践に沿ったものに改定**

## 令和元年度実施

### ○住民の防災意識向上のための取組

- 市広報紙等による風水害対策の啓発
- 防災指導員養成講習会において気象台職員を講師に招き、風水害対策の講座を実施
- 市内小学校(萩間小学校)で水防災授業の実施



### ○逃げ遅れによる被害をなくすための取組

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成(学校施設)
- 洪水ハザードマップ(最大浸水想定)を作成

### ○社会経済被害の最小化のための取組

- 氾濫発生後に速やかに排水活動ができるよう排水ポンプ設置訓練を実施した。



## 令和2年度予定

### ○住民の防災意識向上のための取組

- 出水期前に広報紙や協議会で作成したリーフレット等を活用した水害対策の啓発活動を行う。

(広報まきのはら5月号)

- 防災出前講座において風水害対策の講座を行うことにより市民及び地域防災力の向上を図る。
- 洪水ハザードマップ(最大浸水想定)の周知を図る。



### ○逃げ遅れによる被害をなくすための取組

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施の促進(対象施設の地域防災計画への記載、関係各課との連携強化)

### ○社会経済被害の最小化のための取組

- 国、県と連携した排水ポンプ設置訓練の実施
- 排水計画の点検検証
- 土のうステーションの整備



## 令和元年度実施

### ○住民の防災意識向上のための取組

- よしだ防災メールの周知
  - ・登録したメールアドレスに町の気象情報など災害に関する情報を、お知らせするサービス
  - ・11月3日開催の小山城まつりにて、来場者に対し登録チラシの配布等、促進活動を実施
- 地域防災指導員養成講座において風水害対策の講座を実施
  - ・町民及び地域の防災力の向上を図る



### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援
  - ・各施設に対して計画作成のための説明会を実施  
(町関係課も参加)



### ○社会経済被害の最小化のための取組

- 災害リスクの高い箇所を地元住民と大井川の共同点検を実施  
(令和元年6月11日)
- 水防演習の実施
  - ・町消防団が参加して、土のう作成等の演習を実施
- 水防訓練の実施

## 令和2年度予定

### ○住民の防災意識向上のための取組

- よしだ防災メールの周知
  - ・登録したメールアドレスに町の気象情報など災害に関する情報を、お知らせするサービス。
  - ・11月3日開催の小山城まつりにて、来場者に対し登録チラシの配布等、促進活動を実施予定
- 引き続き地域防災指導員養成講座において風水害対策の講座を実施予定



### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設避難確保計画に基づく支援等
  - ・関係各課との連携強化
  - ・作成した計画の実効化と訓練実施の支援
  - ・洪水ハザードマップ(最大浸水想定)の作成と周知
- 洪水ハザードマップ(想定最大規模)の作成

### ○社会経済被害の最小化のための取組

- 災害リスクの高い箇所を地元住民と大井川の共同点検を実施予定  
(令和2年5~6月を予定)
- 水防演習の実施
  - ・町消防団が参加して、土のう作成等の演習を実施予定
- 水防訓練の実施

## 令和元年度実施

### ①地域住民の迅速な避難と被害最小化に向けた防災意識の向上のための取組

#### ・ 高齢者への取組

ケアラズカフェにおいて、高齢者の皆様と防災の心構えについての懇談会を開催した。  
(会場：創造と生きがいの湯 (9月10日))

#### ・ 自主防災会への取組

長島ダム管理所に依頼し防災講演会(「長島ダムの役割と、いざという時の避難」)を開催(9月1日)



川根本町文化会館

小長井区(170人)



藤川地域振興センター

藤川区(200人)

### ②地域住民の逃げ遅れゼロに向けた迅速、確実な避難のための取組

#### ・ 要配慮者利用施設管理者等への取組

高齢者サービス担当者会議において、各要配慮者利用施設の防災対策の確認を行う。  
(会場：山村開発センター (10月10日))

避難行動要支援者への対応について、自主防災会と民生委員の代表者による意見交換を行う。  
(会場：役場本庁舎 (1月29日))

## 令和2年度予定

### ①地域住民の迅速な避難と被害最小化に向けた防災意識の向上のための取組

#### ・ 高齢者への取組

防災に対する普段からの心構えや早めの避難について分かりやすく説明する。

#### ・ 自主防災会への取組

長島ダム管理所の協力を得ながら長島ダムの役割を、早期避難につながるよう説明会を開催する。

気象台による研修会を計画し、風水害時における情報の理解を深める。

自衛隊による防災講演会を開催し、災害時における避難生活等の課題について検証する。

### ②地域住民の逃げ遅れゼロに向けた迅速、確実な避難のための取組

#### ・ 住民への取組

想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域および浸水した場合に想定される浸水を表示した洪水浸水想定区域図に基づき「洪水ハザードマップ」を更新する。  
各自主防災会代表への説明会を開催し、全世帯へハザードマップを配布する。

#### ・ 自主防災会と民生委員との連携強化

災害時における共助への取組として、自主防災会と民生委員の代表者による意見交換を定期的に行う。



### 令和元年度実施

#### ③その他の取組

大規模な停電発生への備えとして、電気を必要とする医療・介護機器利用者リストを更新した。

(11月)

災害時における停電対応のため、電源確保の必要性について情報交換を行った。

(会場：区長連絡会(3月18日))

### 令和2年度予定

#### ③その他の取組

台風の被害により危惧される大規模停電発生に備え、電気を必要とする医療・介護機器利用者を確認するとともに無停電装置等の整備を検討する。

## 令和元年度実施

### ○避難勧告等に関するガイドラインの改正に伴う説明会の実施

平成31年3月の避難勧告等に関するガイドラインの改正について、県庁及び各地位局単位で説明会を開催し、概要や実施内容を説明

### ○住民避難実効性向上検討委員会の提言を受けた取組

#### ①新たな啓発手段を活用した住民等への周知啓発

緊急防災情報の伝達手段の多様化、地域の災害リスクの理解促進、非常時の適切な避難行動の支援を目的とした、防災総合アプリ「静岡県防災」を開発、6月に運用開始した。

#### ②地域の議論を踏まえた住民等自らによる避難行動計画の作成

藤枝市をモデルとして実施した、住民参加のマイ・タイムライン作成ワークショップの過程を参考に、市町職員や地域の防災リーダー向けのマイ・タイムライン作成のための手引書「マイ・タイムラインワークショップ進め方の手引」をR2.2月に作成・公表



← 防災アプリ  
令和元年6月1日運用開始

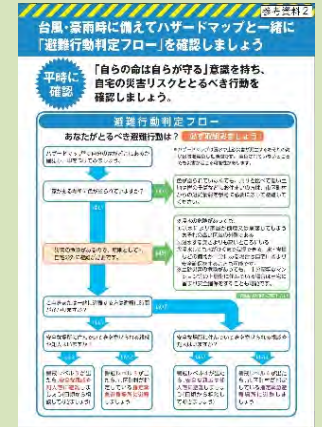
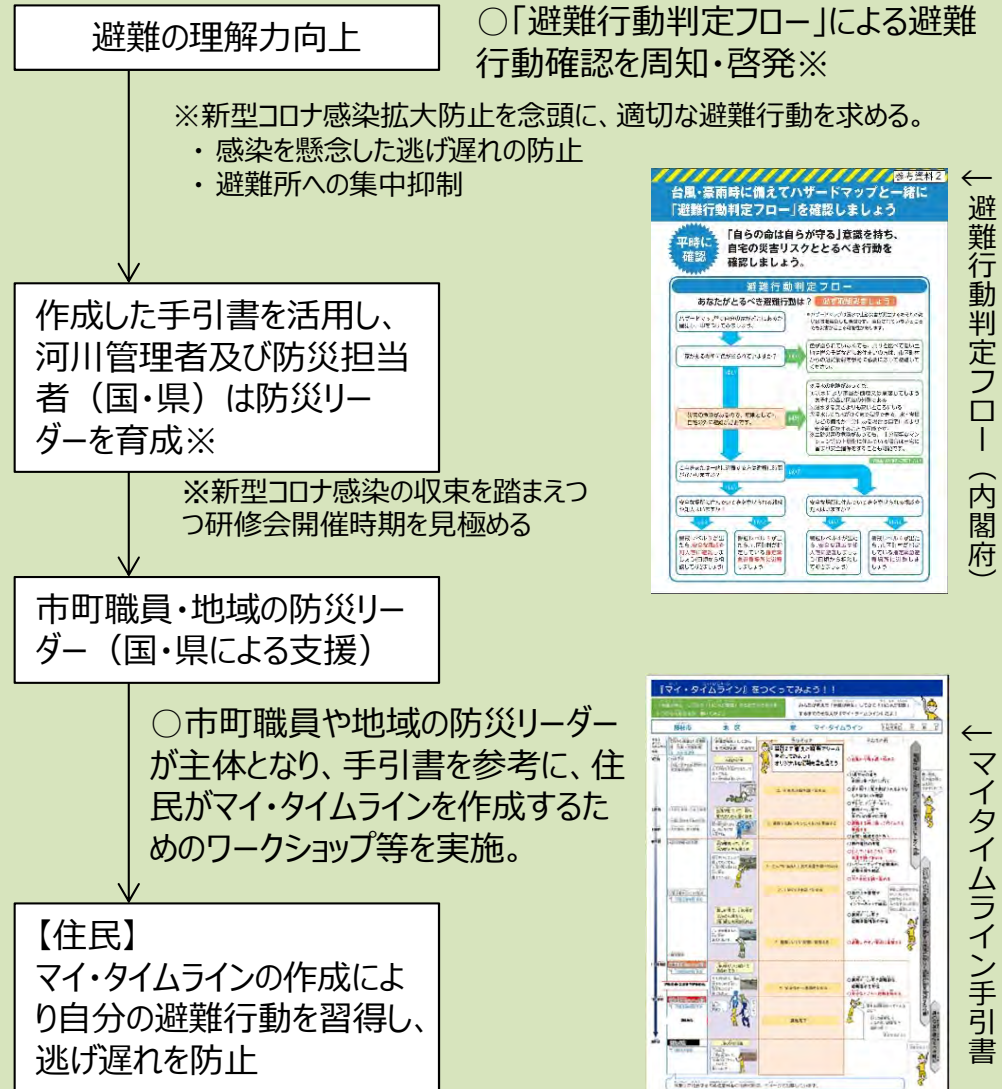
- 防災アプリ「静岡県防災」の機能
- ①緊急防災情報の通知
  - ②マップ表示
  - ③現在地の危険度確認
  - ④危険度体験（AR）
  - ⑤避難トレーニング
  - ⑥防災学習とテスト

- <マイ・タイムライン作成のための手引書概要>
- ①自分たちの住んでいる地区の水害リスクを知る
  - ②洪水時に得られる情報を知る方法、情報を活用した避難判断の方法
  - ③マイ・タイムラインの作成の仕方(雛型)

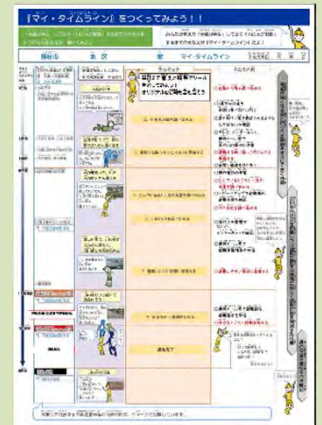
## 令和2年度予定

### ○マイ・タイムラインの作成推進

令和元年度に作成した市町職員や防災リーダー向けのマイ・タイムライン作成のための手引書を活用し、マイ・タイムラインの作成推進を図る。



← 避難行動判定フロー（内閣府）



← マイタイムライン手引書

## 令和元年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### 1 市町風水害版図上訓練(演習)の実施

平成30年7月豪雨等において課題となった”住民の避難行動”を改善するため、また、市町の防災担当職員のスキルアップを目的に、気象庁が作成した「市町防災担当者向け気象防災ワークショップ」を実施した。

##### 【参加機関】

管内7市町  
静岡地方気象台  
静岡河川事務所  
県関係各課及び出先機関



### ○住民の防災意識向上のための取組

#### 水防災に関する防災教育の推進

地震・津波を中心に進めてきた「防災出前講座」において、近年、全国で多発している風水害について啓発を進める。

中部地域局の担当である藤枝市、吉田町の各小学校において、市教育研究会の研修授業で、教員による“教材パッケージ”を使用した授業を実施した。中部地域局では、職員による模範授業と、当日のサポートを行った。



【参考】 防災教育の実施例

## 令和2年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### 1 市町風水害版図上訓練(演習)の実施

昨年度に引き続き、”住民の避難行動”の改善及び市町の防災担当職員のスキルアップを目的に、気象庁が作成した「市町防災担当者向け気象防災ワークショップ」を実施する。

##### 【参加機関】

管内7市町  
静岡地方気象台  
静岡河川事務所  
県関係各課及び出先機関



### ○住民避難実行性向上を目的とした意見交換

#### 水防災に関する防災体制強化の推進

台風等に伴う風水害・土砂災害に対し、住民が適切な避難行動をとれるよう、各市町が発令する避難情報のタイミングや避難所の開設等について、対応方針や課題を共有し、国や県等からの支援体制の強化を図るとともに“顔の見える関係づくり”を目的に関係機関が一堂に会した意見交換会を開催する。



【参考】 H29意見交換会の様子

## 令和元年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
  - ・マイ・タイムライン研修会を実施（市町職員対象）  
（静岡・志太榛原5月30日、西部・中東遠7月25日、東部2月7日）  
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成
  - ・全ての土砂災害危険箇所における基礎調査及び土砂災害警戒区域の指定完了
  - ・市町福祉担当者や学校関係者に、要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた取り組みについて説明（中部地域9/11、11/19）
- 避難行動を促す取組
  - ・危機管理型水位計の観測データを「サイポスレーダー」にて公表  
（7月～運用開始）
  - ・堤防が決壊した場合、どこが・いつ・どのくらい浸水するかを時系列で見ることのできる国土地理院「浸水ナビ」への登録  
（県内46河川：静岡地域は6河川、志太榛原地域は10河川）
  - ・土砂災害警戒情報の発表基準の見直し・検討
  - ・土砂災害警戒情報を補足する新システムの検討
  - ・不動産関係団体の研修会にて水害リスク情報の解説を実施  
（主催：静岡県不動産協会 7月17.22.24日）  
内容：不動産取引時に水害リスク情報を重要事項説明に追加依頼

### ○氾濫発生後の早期回復のための取組

- ・「ふじのくに災害復旧支援隊」を初出動（台風19号対応）  
伊豆市、伊豆の国市、函南町へ職員7名を派遣（10月24日）

### ○ハード対策の取組

【県内全域】

- 河川（河道掘削、樹木伐採等）（県内129河川：静岡地域は20河川、志太榛原地域は13河川）
- 砂防（土砂災害防止施設の整備）（県内37箇所：静岡地域は5箇所、志太榛原地域は5箇所）

## 令和2年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
  - ・マイ・タイムライン研修会を継続実施  
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成
  - ・水位周知河川拡大検討に伴う洪水浸水想定区域図の作成・公表  
（県内11河川：静岡地域はR2完了、志太榛原地域は3河川）
  - ・中小河川を対象に簡易手法による洪水浸水想定区域図の作成・公表  
（県内458河川：静岡地域は75河川、志太榛原地域は56河川）
  - ・高潮浸水想定区域図の作成・公表
  - ・土砂災害警戒区域指定の精度向上（地形改変等に伴う見直し）
  - ・市町福祉担当者や学校関係者に、要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた取り組みについて説明

#### 【令和3年度末までの目標】

- ※要配慮利用施設における避難確保計画作成と訓練実施（100%）
- ※市町における洪水ハザードマップ作成（県内30市町）  
静岡地域は完了済、志太榛原地域はR3完了予定
- ※市町における水害タイムライン作成（県内30市町）  
静岡地域・志太榛原地域完了済

### ●避難行動を促す取組

- ・洪水危険度分布（気象庁データ）を「サイポスレーダー」に搭載
- ・土砂災害警戒情報の発表の新基準による運用
- ・土砂災害警戒情報を補足する新システム及びスマホ版等の運用

### ○ハード対策の取組

【県内全域】

- 河川（河道掘削、樹木伐採等）
- 砂防（土砂災害防止施設の整備、堆積土砂の撤去等）

令和元年度実施

○社会経済被害最小化のための取組  
排水計画(案)に基づく排水訓練の実施

- 平成30年3月に作成した「排水作業準備計画書」を用いて、**巴川流域**において、静岡河川事務所が保有する排水ポンプ車による排水訓練を令和元年9月12日に実施。
- 排水作業準備計画書の手順に沿って、派遣要請から現地での排水ポンプ車受け入れまでの作業手順と操作方法の確認をおこなった。



訓練実施状況

○住民の防災意識向上のための取組  
水位周知河川の指定拡充

安倍川水系**藁科川**、安倍川水系**足久保川**の**2河川**について、新たに水位周知河川へ指定。

【指定済 6河川】

- ・興津川水系興津川
- ・庵原川水系庵原川
- ・庵原川水系山切川
- ・巴川水系巴川
- ・巴川水系長尾川
- ・安倍川水系丸子川

令和2年度予定

○被害軽減のための基盤等の整備  
監視カメラの設置

- 洪水時における河川の状況をリアルタイムで把握し、河川管理や水防活動を迅速に行い、洪水による被害を軽減するため、河川監視カメラの増設を行う。

【設置箇所】  
・庵原川



設置イメージ

○洪水を河川内で安全に流す対策  
河道掘削の実施

- ・洪水を安全に流下させるため、河道内に堆積した土砂の除却や河川内の樹木伐採を行い、流下能力の確保と氾濫の防止対策を行う。

【施工箇所】  
・安倍川  
・巴川  
・興津川



実施予定箇所

令和元年度実施

○住民の防災意識向上のための取組

1 児童・生徒への水防災教育の実施(令和元年8月22日)

大井川「川まつり」に水ビジョンブースを設置し、水害映像の提供、等身大パネルによる浸水深の確認、雨量計の仕組み体験や水防災クイズなどを実施した。(共催:静岡河川、気象台、中部地域局)



賑わいを見せる水ビジョンブース



水害映像やハザードマップを熱心に見る児童たち

○逃げ遅れゼロのための取組

2 ホットライン訓練の実施(令和元年6月28日)

島田土木事務所長と管内各市町長とのホットライン体制を構築し、ホットライン体制の相互確認のための訓練を実施した。



発信者  
島田土木 佐野前所長



受信者  
牧之原市 杉本市長

○逃げ遅れゼロのための取組

3 高齢者関係事業所向け説明会の開催(令和2年1月16日)

要配慮者利用施設の避難確保計画策定の推進に向け、高齢者関係事業所を対象にした説明会を実施した。

会場 吉田町中央公民館  
1階ホール  
参加者 20名程度  
講師 県交通基盤部土木防災課



○住民の防災意識向上のための取組

4 水害・土砂災害の出前講座の実施

地域の危険箇所の確認や適切な避難のための出前講座を実施



6月13日  
(藤枝市)



12月6日  
(島田市)

○ハード対策の取組

5 河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採による流下能力の保全

防災・減災国土強靱化のための3か年緊急事業により、管内10河川における河道掘削や樹木伐採などの工事を実施



朝比奈川(実施前)



朝比奈川(実施後)

## 令和2年度予定

### ○ハード対策の取組

#### 1 河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採による流下能力の保全

防災・減災国土強靱化のための3か年緊急事業などにより、管内の河川における河道掘削や樹木伐採などの工事を実施



3か年緊急対策事業 (R2当初)	
瀬戸川	焼津市岡当目
朝比奈川	藤枝市岡部町桂島
大井川	川根本町千頭
広域河川改修事業 (防災・安全交付金) (R1補正)	
萩間川	牧之原市中西
総合流域防災事業 (防災・安全交付金) (R1補正)	
木屋川	焼津市石津港町
栃山川	焼津市中根
葉梨川	藤枝市藤岡2丁目
栃山川	藤枝市末広
東光寺谷川	藤枝市末広
大代川	島田市金谷二軒家
坂口谷川	牧之原市細江
湯日川	吉田町住吉
大井川	川根本町田代
緊急自然災害防止対策事業	
萩間川	牧之原市西萩間
坂口谷川	牧之原市坂口

県土強靱化対策事業	
伊久美川	島田市身成
相賀谷川	島田市相賀
東光寺谷川	島田市岸町
瀬戸川	焼津市大覚寺
菅ヶ谷川	牧之原市菅ヶ谷
坂口谷川	牧之原市坂口
大井川	島田市川根町身成
川根境川	川根本町下長尾
葉梨川	藤枝市西方
岡部川	藤枝市岡部町岡部
大井川	川根本町徳山

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

#### 2 監視カメラの設置



○監視カメラ設置  
既設 他34河川  
+ 瀬戸川  
=計35河川体制へ

### ○住民の防災意識向上のための取組

#### 3 水害・土砂災害の出前講座の実施

地域の危険箇所や避難経路を確認するための手作りハザードマップの作成など、適切な避難のための出前講座を実施



水害・土砂災害映像の放映 (開催イメージ)

## 令和元年度実施

防災気象情報をより一層活用しやすくするために令和元年度出水期を目途に、「危険度分布」が示す危険度の高まりが確実に伝わるよう、市町など希望者向けに通知するサービスを開始する予定。



## 令和2年度予定

### 「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善する。

### 改善案(イメージ)

平成30年7月豪雨の被害状況  
 ○由良川沿川の舞鶴市、福知山市において浸水被害が発生。  
 (※床上浸水 合計約170戸、床下浸水 合計約600戸)

指定河川洪水予報  
 (国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水による大きな被害を生ずる河川について、洪水のおおむねあると認められるときに発表。)

洪水警報の危険度分布

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意

ハッチ表示はON/OFFできるようボタンを追加(デフォルトOFF)

本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度  
 河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水がでなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあると認められるときに発表。

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】

ボタンON時に凡例を表示



## 令和元年度実施

### ・ダムの操作に関する情報提供等に関わる住民への説明

静岡県榛原郡川根本町の防災訓練のプログラムの1つとして、講演会「長島ダムの役割といざというときの避難」を開催。**ダムの役割と限界、異常洪水時防災操作と早めの避難の重要性**について住民に分かりやすく説明を実施。



### ・避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーの開催及び連絡体制強化

長島ダムでは、川根本町と毎月定例会を実施しており、その中には川根町長も参加し、避難勧告等の判断時の情報共有等のホットラインを確立し、いつでも情報共有が可能な体制となっている。

## 令和2年度予定

### ・ダムの操作に関する情報提供等に関わる住民説明の定例化

昨年行った、ダムの操作に関する情報提供等に関わる住民への説明を実施していく。

### ・避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーの定例化

避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーを実施していく。

### ・放流警報設備等の改良

令和2年度より、警報設備等の改良を実施予定。

### ・放流警報設備等の施設の耐水化

令和2年度より、警報設備等の耐水化を実施予定。

## 令和元年度実施

### ○ハード対策のための取組

#### ■洪水を河川内で安全に流す対策

・安倍川俵沢地区において、洪水を安全に流下させるための堤防断面が不足しているため、堤防強化対策として堤防のかさ上げ及び断面拡幅を実施。

#### ■洪水を河川内で安全に流す対策

・大井川飯淵・川尻地区において、洪水を安全に流下させるための河道断面が不足しているため、魚類等、環境への影響を配慮しつつ河道掘削を実施。



### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ■住民等への周知・教育・訓練

・静岡市内の小中学校にて、静岡地域・志太榛原地域大規模氾濫減災協議会で作成した授業用スライドやテキスト等の教材を用いた水防災教育授業を実施。

（焼津市立大村中学校2年生：

令和元年10月2日、

牧之原市立萩間小学校5年生：

令和元年10月30日）

・教員免許更新のための講習に、協議会として水防災に関する講座を開設

（令和元年8月7日）

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### ■情報伝達の強化

・洪水対応演習にて伝達・ホットライン等の確認を実施

（平成31年4月22日）



▲水防災教育授業の様子



▲水防災に関する講座の様子

### ○水防活動・排水活動のための取組

#### ■水防活動の効率化及び水防体制の強化

・排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を実施

（令和元年5月27日、6月2、5、9、16日、令和2年2月7日）

・市職員・建設業協会と合同で陸閘操作訓練を実施

（平成30年9月12日）

・焼津市水防演習において、土のう・水のう設置訓練

（令和元年6月16日）



▲操作訓練の様子



▲水のう設置訓練の様子

## 令和2年度予定

### ○ハード対策のための取組

#### ■洪水を河川内で安全に流す対策

- ・安倍川俵沢地区において、浸透による決壊を防ぐために堤防整備を実施。
- ・大井川神座地区において、洪水を安全に流下させるため、堤防整備(築堤護岸)を実施。

#### ■洪水を河川内で安全に流す対策

- ・安倍川手越地区・下河原地区及び大井川飯渚・川尻地区において、洪水を安全に流下させるため、河道掘削を実施。



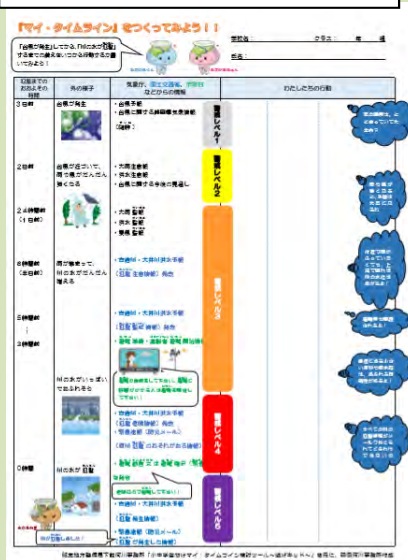
### ○住民の防災意識向上のための取組

#### ■住民等への周知・教育・訓練

- ・高校生を対象とした水防災教育ツール(デジタル教材・動画等)の作成

- ・在宅の要介護者が適切なタイミングで避難行動するにあたり、自治体職員や介護支援専門員(ケアマネージャー)を対象とした水防災意識や知識向上に役立つツールの作成

マイ・タイムライン作成シート



増水時の川のイメージCG



▲水防災教育教材のイメージ

### ○逃げ遅れゼロのための取組

#### ■情報伝達の強化

- ・洪水対応演習にて伝達・ホットライン等の確認を実施済(継続)

### ○水防活動・排水活動のための取組

#### ■水防活動の効率化及び水防体制の強化

- ・自治体職員及び地元住民と水防危険箇所の現地確認を実施予定(令和2年5月、6月中実施予定)